

1 次の関数のグラフをかけ。また、関数 $y=3^x$ のグラフとの位置関係をいえ。

(1) $y=9 \cdot 3^x$

(2) $y=3^{-x+1}$

(3) $y=3-9^{\frac{x}{2}}$

3 次の方程式、連立方程式を解け。

(1) $3^{x+2}=27$

(2) $4^x-2^{x+2}-32=0$

(3) $\begin{cases} 3^{2x}-3^y=-6 \\ 3^{2x+y}=27 \end{cases}$

4 次の不等式を解け。

(1) $\left(\frac{1}{2}\right)^{2x+2} < \left(\frac{1}{16}\right)^{x-1}$

(2) $2 \cdot 4^x - 17 \cdot 2^x + 8 < 0$

(3) $25^x - 3 \cdot 5^x - 10 \geq 0$

2 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1) $2^{\frac{1}{2}}, 4^{\frac{1}{4}}, 8^{\frac{1}{8}}$

(2) $\sqrt[3]{\frac{1}{25}}, \frac{1}{\sqrt{5}}, \sqrt[4]{\frac{1}{125}}$

(3) $\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[6]{6}$

5 (1) 関数 $y=4^{x+1}-2^{x+2}+2$ ($x \leq 2$) の最大値と最小値を求めよ。

(2) 関数 $y=6(2^x+2^{-x})-2(4^x+4^{-x})$ について, $2^x+2^{-x}=t$ とおくとき, y を t を用いて表せ。また, y の最大値を求めよ。

6 次の方程式, 不等式を解け。

(1) $8^x - 3 \cdot 4^x - 3 \cdot 2^{x+1} + 8 = 0$

(3) $2^{x-4} < 8^{1-2x} < 4^{x+1}$

(2) $2(3^x + 3^{-x}) - 5(9^x + 9^{-x}) + 6 = 0$

7 a は定数とする。 $0 \leq x \leq 1$ のとき, 関数 $y = -4^{-x} + a \cdot 2^{-x} + 2$ が最大となる x の値と,

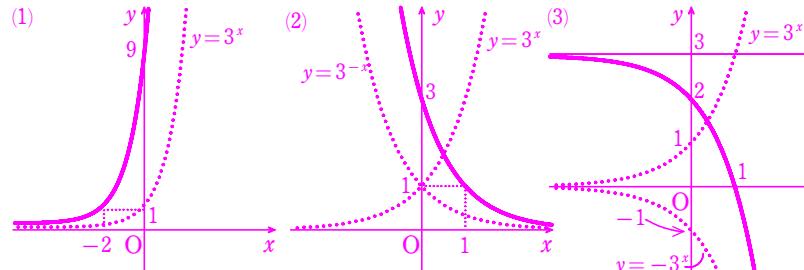
そのときの最大値を求めよ。

1 次の関数のグラフをかけ。また、関数 $y=3^x$ のグラフとの位置関係をいえ。

(1) $y=9 \cdot 3^x$

(2) $y=3^{-x+1}$

(3) $y=3-9^{\frac{x}{2}}$

解答 (1) [図] $y=3^x$ のグラフを x 軸方向に -2 だけ平行移動したもの(2) [図] $y=3^x$ のグラフを y 軸に関して対称移動し、更に x 軸方向に 1 だけ平行移動したもの(3) [図] $y=3^x$ のグラフを x 軸に関して対称移動し、更に y 軸方向に 3 だけ平行移動したもの

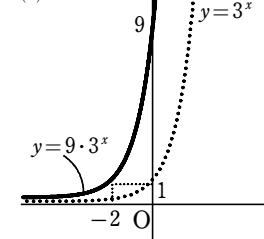
解説

(1) $y=9 \cdot 3^x = 3^2 \cdot 3^x = 3^{x+2}$

したがって、 $y=9 \cdot 3^x$ のグラフは、 $y=3^x$ のグラフを x 軸方向に -2 だけ平行移動したものである。

よって、そのグラフは図(1)の太い実線のようになる。

(1) $y=9 \cdot 3^x$

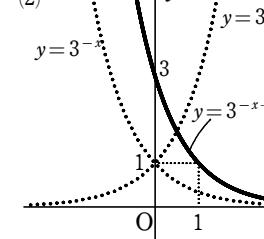


(2) $y=3^{-x+1}=3^{-(x-1)}$

したがって、 $y=3^{-x+1}$ のグラフは、 $y=3^{-x}$ のグラフを x 軸方向に 1 だけ平行移動したもの、すなわち $y=3^x$ のグラフを y 軸に関して対称移動し、更に x 軸方向に 1 だけ平行移動したものである。

よって、そのグラフは図(2)の太い実線のようになる。

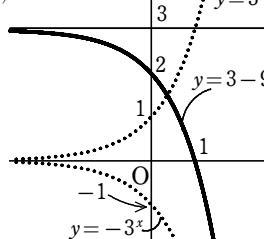
(2) $y=3^{-x+1}$



(3) $y=3-9^{\frac{x}{2}}=-(3^2)^{\frac{x}{2}}+3=-3^x+3$

したがって、 $y=3-9^{\frac{x}{2}}$ のグラフは、 $y=-3^x$ のグラフを y 軸方向に 3 だけ平行移動したもの、すなわち $y=3^x$ のグラフを x 軸に関して対称移動し、更に y 軸方向に 3 だけ平行移動したものである。よって、そのグラフは図(3)の太い実線のようになる。

(3) $y=3-9^{\frac{x}{2}}$



2 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1) $2^{\frac{1}{2}}, 4^{\frac{1}{4}}, 8^{\frac{1}{8}}$

(2) $\sqrt[3]{\frac{1}{25}}, \frac{1}{\sqrt{5}}, \sqrt[4]{\frac{1}{125}}$

(3) $\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[6]{6}$

解答 (1) $8^{\frac{1}{8}} < 2^{\frac{1}{2}} = 4^{\frac{1}{4}}$ (2) $\sqrt[4]{\frac{1}{125}} < \sqrt[3]{\frac{1}{25}} < \frac{1}{\sqrt{5}}$ (3) $\sqrt[6]{6} < \sqrt{2} < \sqrt[3]{3}$

解説

(1) $2^{\frac{1}{2}}, 4^{\frac{1}{4}} = (2^2)^{\frac{1}{4}} = 2^{\frac{1}{2}}, 8^{\frac{1}{8}} = (2^3)^{\frac{1}{8}} = 2^{\frac{3}{8}}$

底 2 は 1 より大きいから、 $\frac{1}{2} = \frac{1}{2} > \frac{3}{8}$ より $8^{\frac{1}{8}} < 2^{\frac{1}{2}} = 4^{\frac{1}{4}}$

(2) $\sqrt[3]{\frac{1}{25}} = \sqrt[3]{\left(\frac{1}{5}\right)^2} = \left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{2}{3}}, \frac{1}{\sqrt{5}} = \sqrt{\frac{1}{5}} = \left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{1}{2}}, \sqrt[4]{\frac{1}{125}} = \sqrt[4]{\left(\frac{1}{5}\right)^3} = \left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{3}{4}}$

底 $\frac{1}{5}$ は 1 より小さいから、 $\frac{1}{2} < \frac{2}{3} < \frac{3}{4}$ より

$$\left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{3}{4}} < \left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{2}{3}} < \left(\frac{1}{5}\right)^{\frac{1}{2}} \text{ すなわち } \sqrt[4]{\frac{1}{125}} < \sqrt[3]{\frac{1}{25}} < \frac{1}{\sqrt{5}}$$

(3) $(\sqrt{2})^6 = (2^{\frac{1}{2}})^6 = 2^3 = 8, (\sqrt[3]{3})^6 = (3^{\frac{1}{3}})^6 = 3^2 = 9, (\sqrt[6]{6})^6 = 6$

6 < 8 < 9 であるから $(\sqrt[6]{6})^6 < (\sqrt{2})^6 < (\sqrt[3]{3})^6$ $\sqrt[6]{6} > 0, \sqrt{2} > 0, \sqrt[3]{3} > 0$ であるから $\sqrt[6]{6} < \sqrt{2} < \sqrt[3]{3}$

3 次の方程式、連立方程式を解け。

(1) $3^{x+2} = 27$

(2) $4^x - 2^{x+2} - 32 = 0$

(3)
$$\begin{cases} 3^{2x} - 3^y = -6 \\ 3^{2x+y} = 27 \end{cases}$$

解答 (1) $x=1$ (2) $x=3$ (3) $x=\frac{1}{2}, y=2$

解説

(1) $3^{x+2} = 27$ から $3^{x+2} = 3^3$

よって $x+2=3$ ゆえに $x=1$

(2) 与式から $(2^x)^2 - 2^2 \cdot 2^x - 32 = 0$

$2^x = X$ とおくと $X > 0$ 方程式は $X^2 - 4X - 32 = 0$

ゆえに $(X+4)(X-8)=0$ よって $X=-4, 8$

$X > 0$ であるから $X=8$ すなわち $2^x=8$

ゆえに $2^x=2^3$ よって $x=3$

(3) $3^{2x}=X, 3^y=Y$ とおくと $X > 0, Y > 0$

連立方程式は
$$\begin{cases} X-Y=-6 & \dots \text{①} \\ XY=27 & \dots \text{②} \end{cases}$$

①から $Y=X+6$ $\dots \text{③}$

③を ②に代入して $X(X+6)=27$

ゆえに $X^2+6X-27=0$ よって $(X-3)(X+9)=0$

$X > 0$ であるから $X=3$

これを ③に代入して $Y=9$ ($Y > 0$ を満たす)

$X=3$ から $3^{2x}=3$ $Y=9$ から $3^y=3^2$

したがって $x=\frac{1}{2}, y=2$

解答 (1) $x < 3$ (2) $-1 < x < 3$ (3) $x \geq 1$

解説

(1) $\left(\frac{1}{2}\right)^{2x+2} < \left(\frac{1}{16}\right)^{x-1}$ から $\left(\frac{1}{2}\right)^{2x+2} < \left(\frac{1}{2}\right)^{4(x-1)}$

底 $\frac{1}{2}$ は 1 より小さいから $2x+2 > 4(x-1)$ これを解いて $x < 3$

(2) 与式から $2 \cdot (2^x)^2 - 17 \cdot 2^x + 8 < 0$

$2^x=X$ とおくと $X > 0$

不等式は $2X^2 - 17X + 8 < 0$

したがって $(2X-1)(X-8) < 0$

これを解いて $\frac{1}{2} < X < 8$ ($X > 0$ を満たす)

ゆえに $\frac{1}{2} < 2^x < 8$ すなわち $2^{-1} < 2^x < 2^3$

底 2 は 1 より大きいから $-1 < x < 3$

(3) 与式から $(5^x)^2 - 3 \cdot 5^x - 10 \geq 0$

$5^x=X$ とおくと $X > 0$

不等式は $X^2 - 3X - 10 \geq 0$

したがって $(X+2)(X-5) \geq 0$

$X+2 > 0$ であるから $X-5 \geq 0$ すなわち $X \geq 5$

ゆえに $5^x \geq 5$ 底 5 は 1 より大きいから $x \geq 1$

5 (1) 関数 $y=4^{x+1} - 2^{x+2} + 2$ ($x \leq 2$) の最大値と最小値を求める。(2) 関数 $y=6(2^x + 2^{-x}) - 2(4^x + 4^{-x})$ について、 $2^x + 2^{-x} = t$ とおくとき、 y を t を用いて表せ。また、 y の最大値を求める。解答 (1) $x=2$ のとき最大値 50, $x=-1$ のとき最小値 1(2) $y=-2t^2+6t+4, x=0$ のとき最大値 8

解説

(1) $2^x=t$ とおくと $t > 0$ $x \leq 2$ であるから $0 < t \leq 2^2$

したがって $0 < t \leq 4$ ①

y を t の式で表すと $y=4(2^x)^2 - 4 \cdot 2^x + 2 = 4t^2 - 4t + 2 = 4\left(t - \frac{1}{2}\right)^2 + 1$

①の範囲において、 y は $t=4$ で最大、 $t=\frac{1}{2}$ で最小となる。

$t=4$ のとき $2^x=4$ ゆえに $x=2$

$t=\frac{1}{2}$ のとき $2^x=\frac{1}{2}$ ゆえに $x=-1$

よって $x=2$ のとき最大値 50, $x=-1$ のとき最小値 1

(2) $4^x + 4^{-x} = (2^x)^2 + (2^{-x})^2 = (2^x + 2^{-x})^2 - 2 \cdot 2^x \cdot 2^{-x} = t^2 - 2$

したがって $y=6t - 2(t^2 - 2) = -2t^2 + 6t + 4$ ①

2 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1) $2^{\frac{1}{2}}, 4^{\frac{1}{4}}, 8^{\frac{1}{8}}$

(2) $\sqrt[3]{\frac{1}{25}}, \frac{1}{\sqrt{5}}, \sqrt[4]{\frac{1}{125}}$

(3) $\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[6]{6}$

4 次の不等式を解け。

(1) $\left(\frac{1}{2}\right)^{2x+2} < \left(\frac{1}{16}\right)^{x-1}$

(2) $2 \cdot 4^x - 17 \cdot 2^x + 8 < 0$

(3) $25^x - 3 \cdot 5^x - 10 \geq 0$

$2^x > 0, 2^{-x} > 0$ であるから、(相加平均) \geq (相乗平均) より

$$2^x + 2^{-x} \geq 2\sqrt{2^x \cdot 2^{-x}} = 2$$

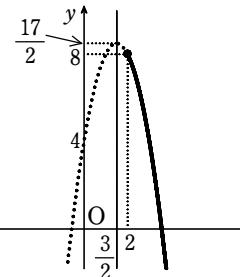
すなわち $t \geq 2$ ②

ここで、等号は $2^x = 2^{-x}$ 、すなわち $x = -x$ から $x = 0$ のとき成り立つ。

$$\text{①から } y = -2\left(t - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{17}{2}$$

②の範囲において、 y は $t = 2$ のとき最大値 8 をとる。

したがって $x = 0$ のとき最大値 8



6 次の方程式、不等式を解け。

$$(1) 8^x - 3 \cdot 4^x - 3 \cdot 2^{x+1} + 8 = 0 \quad (2) 2(3^x + 3^{-x}) - 5(9^x + 9^{-x}) + 6 = 0$$

$$(3) 2^{x-4} < 8^{1-2x} < 4^{x+1}$$

解答 (1) $x = 0, 2$ (2) $x = 0$ (3) $\frac{1}{8} < x < 1$

解説

(1) 方程式から $(2^x)^3 - 3 \cdot (2^x)^2 - 6 \cdot 2^x + 8 = 0$

$2^x = X$ とおくと $X > 0$ 方程式は $X^3 - 3X^2 - 6X + 8 = 0$

ゆえに $(X-1)(X+2)(X-4) = 0$

$X > 0$ であるから $X = 1, 4$

$X = 1$ のとき $2^x = 1$ ゆえに $x = 0$

$X = 4$ のとき $2^x = 4$ ゆえに $x = 2$

したがって $x = 0, 2$

(2) $3^x + 3^{-x} = t$ とおくと $9^x + 9^{-x} = (3^x + 3^{-x})^2 - 2 = t^2 - 2$

方程式は $2t - 5(t^2 - 2) + 6 = 0$ 整理して $5t^2 - 2t - 16 = 0$

ゆえに $(t-2)(5t+8) = 0$ ①

ここで、 $3^x > 0, 3^{-x} > 0$ であるから、(相加平均) \geq (相乗平均) により

$$t = 3^x + 3^{-x} \geq 2\sqrt{3^x \cdot 3^{-x}} = 2 \quad \dots \dots ②$$

等号は $3^x = 3^{-x}$ 、すなわち $x = -x$ から $x = 0$ のとき成り立つ。

$t \geq 2$ から $5t+8 > 0$ よって、①から $t-2=0$ すなわち $t=2$

$t=2$ となるのは、②で等号が成り立つ場合であるから、求める解は $x=0$

(3) $8^{1-2x} = (2^3)^{1-2x} = 2^{3-6x}, 4^{x+1} = (2^2)^{x+1} = 2^{2x+2}$ であるから、不等式は

$$2^{x-4} < 2^{3-6x} < 2^{2x+2}$$

底 2 は 1 より大きいから $x-4 < 3-6x < 2x+2$

$x-4 < 3-6x$ から $x < 1$ ①

$3-6x < 2x+2$ から $\frac{1}{8} < x$ ②

①, ②の共通範囲を求めて $\frac{1}{8} < x < 1$

7 a は定数とする。 $0 \leq x \leq 1$ のとき、関数 $y = -4^{-x} + a \cdot 2^{-x} + 2$ が最大となる x の値と、そのときの最大値を求めよ。

解答 $a < 1$ のとき $x = 1$ で最大値 $\frac{a}{2} + \frac{7}{4}$,

$1 \leq a \leq 2$ のとき $x = 1 - \log_2 a$ で最大値 $\frac{a^2}{4} + 2$,

$2 < a$ のとき $x = 0$ で最大値 $a+1$

解説

$2^{-x} = t$ とおくと、 $0 \leq x \leq 1$ のとき $\frac{1}{2} \leq t \leq 1$ ①

y を t の式で表すと、 $4^{-x} = (2^2)^{-x} = (2^{-x})^2 = t^2$ であるから

$$y = -t^2 + at + 2 = -\left(t - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a^2}{4} + 2$$

この関数のグラフは、上に凸の放物線で、軸は直線 $t = \frac{a}{2}$ 、頂点は点 $\left(\frac{a}{2}, \frac{a^2}{4} + 2\right)$ である。

グラフの軸が区間 ① の左外、内、右外にある場合に分けると

[1] $\frac{a}{2} < \frac{1}{2}$ すなわち $a < 1$ のとき

y は $t = \frac{1}{2}$ で最大値 $\frac{a}{2} + \frac{7}{4}$ をとる。

$t = \frac{1}{2}$ のとき $2^{-x} = \frac{1}{2}$ よって $x = 1$

[2] $\frac{1}{2} \leq \frac{a}{2} \leq 1$ すなわち $1 \leq a \leq 2$ のとき

y は $t = \frac{a}{2}$ で最大値 $\frac{a^2}{4} + 2$ をとる。

$t = \frac{a}{2}$ のとき $2^{-x} = \frac{a}{2}$

ゆえに $2^x = \frac{2}{a}$
よって $x = \log_2 \frac{2}{a} = 1 - \log_2 a$

[3] $1 < \frac{a}{2}$ すなわち $a > 2$ のとき

y は $t = 1$ で最大値 $a+1$ をとる。

$t = 1$ のとき $2^{-x} = 1$

よって $x = 0$

以上から

$a < 1$ のとき $x = 1$ で最大値 $\frac{a}{2} + \frac{7}{4}$,

$1 \leq a \leq 2$ のとき $x = 1 - \log_2 a$ で最大値 $\frac{a^2}{4} + 2$,

$2 < a$ のとき $x = 0$ で最大値 $a+1$

